

令和元年度 津久井やまゆり園オープンセミナー報告

テーマ：「人権擁護について」

～津久井やまゆり園の意思決定支援をもとに～

講師：和泉短期大学教授・社会福祉士
・神奈川県意思決定支援アドバイザー
鈴木 敏彦 氏

日時：令和2年2月20日（木）15:30～17:30

場所：津久井やまゆり園芹が谷園舎 会議室

参加者：園内27名 外部8名 合計35名



津久井やまゆり園では「障害サービス等の提供に関わる意思決定支援ガイドライン」をもとに、意思決定支援に取り組んでいます。今回は“神奈川県意思決定支援アドバイザー”として意思決定支援を導いて下さっている和泉短期大学教授鈴木敏彦氏を講師に迎え、10項目に分けて意思決定支援の現状と課題についてお話しいただきました。

各項目について、講師より問いかけ（右側参照）がありました。問いかけは全部で17個あり各項目のポイントや大切にすべきことでした。各自、確認しながらこれまでの取り組みについて振り返る良い機会となりました。

質問では、実際に実践している職員が複数積極的に自信を持って回答している姿がとても印象的でした。17の問いかけの⑬にあるようにきっと「ワクワク」支援しているんだろうなと思うと、双方にとって良い取り組みであると改めて確信し嬉しくなりました。

継続して取り組むことで、利用者様の思いを反映したその人らしい人生実現のお手伝いが出来ればと願っております。

～17の問いかけ～

- ①意思決定支援のゴールは何か
ご本人の暮らし・人生について短期的（近い将来）から中長期的（遠い将来）な展望は？
- ②日々の暮らし・社会とのつながりの双方を意識した支援ですか？
- ③「ご本人の人生である！」が忘れられていませんか？
- ④双方向の意思疎通のための合理的配慮は忘れられていませんか？
- ⑤過度な過保護/放任となっていないですか？
- ⑥多職種連携で、ご本人を多面的、包括的にとらえていますか？
- ⑦その記録、ご本人の姿を立体的に浮かび上がらせていますか？
- ⑧多職種連携では、（お飾りでない）「健全なチームが」構築されていますか？
- ⑨「家族の思いに」寄り添っていますか？
- ⑩支援の客観性は担保されていますか？
（根拠のある支援ですか？）
- ⑪ {代理決定} の前に、万策を尽くした支援がなされていますか？
- ⑫ご本人の“人生のバトン”を仲間に託すことが出来ていますか？
- ⑬あなたもご本人も「ワクワク」していますか？
- ⑭ナチュラルソース（多様な地域資源を）活用していますか？
- ⑮“個の課題”を“地域の課題”へと昇華させていますか？
- ⑯障がいケアマネジメントの基本を踏み外していませんか？
- ⑰共生社会を作る専門職として意思決定支援を担う覚悟はできていますか？

